

アバターロボット活用での先生への支援を拡大し 病弱の子どもの学校生活参加機会を増やす取組み

1. 目的

- 全国の先生（特別支援学校、小学校・中学校・高等学校）にアバターロボット貸出並びのその利用を支援
- 先生の情報共有サイトを構築し交流促進を支援

2. 事業概要・成果

○コミュニティサイトの新規構築と運用

アバター活用の様々な実績情報を掲載し、先生間交流を促進
各種施策（下記）を実績し、関連情報を掲載

- ・小学校・中学校・高等学校の先生が「いつでもアバターロボットで病弱の子どもの支援ができる」事を目指し「アバターロボット試行体験」実施
- ・特別支援学校の先生にアバターロボットを貸出し、「復学不安軽減モデル」をベースに「日常活動での活用」へ拡充。活用事例ビデオ36件掲載
- ・子どもの日常の学校生活参加機会の拡大を目指し、アイデアコンテストを実施。一般校、特別支援学校から324件の応募実績。受賞案件にて、メタバーズで先生間の意見交換



アバター活用事例ビデオ



コミュニティサイト

アイデアコンテスト

3. 今後の展開

- アバターロボット利用者拡大(病気療養に加え不登校、ヤングケアラ等)
- メタバーズ活用で利用場所拡大(学校を離れた場所)



メタバーズでの
先生間交流